

事務事業名		容器包装リサイクル事業			会計	一般会計				
H27担当課等名		環境課		H27係等名	廃棄物対策係		H26係等名	廃棄物対策係		
基本計画上の位置づけ		政策	5	人の営みと自然・環境が調和したまちづくり						
		施策	56	廃棄物の減量と適正処理						
目的	対象(誰・何を)	・飯田市民 ・収集されたごみ			対象指標	指標名及び単位			26年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	・分別を徹底実践してもらう ・容器包装対象物を再資源化する				飯田市の人口(人) ※9月末住民登録人口			104950	
	向上させたい上位施策の成果指標	ごみの収集量				ごみの収集量(家庭系一般廃棄物)(t/年)			21630	
目標	種別	指標名及び単位			26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)	
	成果指標	再資源化率(家庭系一般廃棄物)(%) (資源ごみの量/(ごみの収集量+直接搬入量))			35	32.3	35.1	35.2		
	定性目標									
事業概要	容器包装などの原材料利用としてのリサイクルを推進するほか、各地区まちづくり委員会への委託によりリサイクルステーションの管理運営を行う。 1 原材料利用としてのリサイクル									
26年度事業内容	事業内容				名称			活動指標		
	1(1) 容器包装リサイクルの推進 (2) その他リサイクルの推進 (3) リサイクルステーションの適切な運営と管理の推進 (4) 各地区まちづくり委員会との協働によるごみ組成調査の実施				1(1)ア ペットボトル収集量 イ プラ資源収集量 (2) ガラスびん収集量 (3) 委託箇所数 (4) 実施地区数			1(1)ア 65t イ 1,618t (2) 416t (3) 130箇所 (4) 20地区		
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足				
事業費計(千円)①		49,178	50,389	49,585	50,847	(そ)ごみ処理手数料29,838千円、諸収入15,854千円				
国庫支出金										
県支出金										
起債										
その他		49,178	44,892	45,692	45,577					
一般財源			5,497	3,893	5,270					
人件費計(千円)②		2,038		2,038						
正規職員所要時間		570		570						
臨時職員所要時間										
総事業費①+②		51,216	50,389	51,623	50,847					
事業内容・目標達成状況の振り返り	ごみの収集量(家庭系一般廃棄物)の減少に伴い、資源ごみの重量も減少している。再資源化率は横ばいであるため、今後も継続した取り組みが必要である。									
改革改善の考え方	①問題点	安定的なリサイクル体制の維持及び分別の適正化								
	②改革提案	より安定的な処理を行うため、ガラスびん(その他)について、従来の独自ルートから(公財)日本容器包装リサイクル協会ルートへの切り替えを行う。また、分別の適正化に向けた継続的な周知活動を実施する。								